



## 4庁舎が「そのままでもいい」とは主張していない

# 山東庁舎は今後も分庁舎として活用するための役割・体制等の明確化を

### 東口統合庁舎でのような問題が議論されたのか

10月16日の議論では、①駅東口周辺の地盤は軟弱で問題があり旧国鉄時代の石炭殻はどうなっているのか②複合庁舎やPFI(※)手法などは急に出された。現実的な可能性はあるのか③財源問題や事業スケジュールは十分クリアーできるのか④交通アクセス及び防災拠点としての機能に問題はないか⑤駅周辺にある公共施設(県立文庫交流会館)等の転用の可能性はないか⑥米原駅東口のまちづくりで現在の庁舎予定地は販売が目的ではなかったのか、などが議論されました。

11月12日の議論では、更に前回の問題事項についての確認がされ、また新たな問題としてPFIでの複合施設での建設費が15億円増加することについての考え方について議論されました。当局はあくまでも可能性を探るのが目的と回答し、15億円の建設費は民間が負担すると回答しています。また今回明らかになった、東口の事業計画と庁舎建設の関連が質問された。

### 議員間討論では

11月20日の特別委員会では、議員間討論が行われました。意見の中には、東口での賛成意見、消極的ではあるが賛成する意見、他の民有地(たとえば近江地域)が検討されていない問題、あくまでも開発予定地として利用すべきとの意見、また現在の米原庁舎地を推薦される意見等が出されました。また日本共産党市議団の考え方について他会派議員から質問がなされました。

### 議員間討論での市議団の発言

○私たちが話をしている市民から意見を伺っても、現在の分庁舎方式について不満を述べる方はほとんどいない。

### 雑感

議員として2年が経過しました。選挙で公約したことがどれだけできたのか、また本当に役立つ議員として働けたのか不安です。ただもう一度初心にもどりたい、皆さんの思いを、議会に届けたいと決意しています。現実には複雑な問題がありますし、まだまだ知識不足もあります。ただ支えは、皆さんの応援です。どのようなことでも結構ですので、率直なご意見をお願いします。

2015年9月議会で継続審査となっていた「米原市の庁舎位置」に関する条例の一部改正」を審議する「市統合庁舎建設に関する特別委員会(全議員20名で構成)」が議会閉会中ですが継続して開催されています。この中で、統合庁舎を前提の議論ですが、多くの議員から疑問がだされています。11月20日の特別委員会では議員間討論が行われました。今後も特別委員会は継続して開催されますが、12月議会での取り扱いには不透明な状況となっています。

○ただ、耐震性に乏しい施設は改修や統合等が必要であることから、現在の4庁舎をそのままでの分庁舎ではなく2庁舎での分庁舎等も提案している。

○特に山東庁舎の取り扱いについて、耐震性も問題なく場所についてもほぼ中央にあり、米原市の防災の拠点となりうることから、山東庁舎を防災や建設、農業、環境の拠点として活用することを提案する。

○その他部門については住民の利便性を中心に米原・近江での現行庁舎の耐震化や増改築等を検討する必要があると考えている。

このことについては、市長にも伝えたいと発言しました。

### 2015年第4回定例会日程決まる。

傍聴やZTV視聴をよろしくお願ひします

- 11月26日 告示・全員協議会
- 12月1日 一般質問等締切・議運
- 3日 本会議・総括質疑
- 7日 一般質問
- 8日 一般質問
- 10日 庁舎問題特別委員会
- 11日 総務教育常任委員会
- 14日 健康福祉常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 16日 (庁舎問題特別委員会)
- 22日 議会最終日

議案については、執行部提案30件、請願4件、議会発議1件となっています。請願のうち3件は日本共産党米原市議団が紹介議員となっているもの、あと1件は、鏑田議員他2人が紹介議員となっているものです。詳細は後日に。

※PFI:民間の資金と経営能力・技術力を活用し、設計・建設を民間業者が行う公共事業の手法